

もくじ

本書の使い方P.3
第1問 「相手の目を見て説得するのはよいことではない」P.4
第2問 「英國で第二次世界大戦中に起こったベットの大量殺処分」P.11
第3問 「スポーツ心理学の意義」P.18
第4問 「異文化の中で母語を次世代へ継承することの難しさ」P.25
第5問 「極地探検と英雄たちの悲劇」P.32
第6問 「狩猟採集民の生活の方が人類には適していた」P.38
第7問 「顔の表情は単に感情が表に出たものではない」P.44
第8問 「知性とは注意力を配分する能力だ」P.50
第9問 「職場の友情は過去のものなのか」P.57
第10問 「アメリカにおける民族多様性社会の実情」P.64
第11問 「匂いを使った植物のコミュニケーション」P.70
第12問 「ツーリズムが抱える課題」P.76
第13問 「最優先すべき問題は貧困ではなく不平等だ」P.83
第14問 「大学における一般教養教育の重要性と学生へのアドバイス」P.90
第15問 「芸術への資金提供は政府の責務だ」P.97
第16問 「仕事にかかる時間についての見込みの甘さ」P.104

はじめに

近年の大学入試では、そのレベルを問わず800語、場合によってはそれ以上の超長文を読み解く必要があります。このような分量の多さに慣れつつ、多岐に渡る文章のテーマにも幅広く対応するべく、既刊の①(400-500 words)・②(500-600words)・③(600-700words)に引き続く形で、以下4点に重点を置いて作成しました。

① 厳選された最新の良問を通じて、読解力の向上を実現する

既刊の他3冊と同様に、本書中のすべての問題は、予備校講師として数多くの授業と模試作成に携わった経験をもとに、“最新の入試問題から厳選した良問”です。質の高い問題を教材に用いることで、“正しく内容を理解する力（=読解力）”を効率的かつ確実に鍛えることができます。

② 今までに必要な語彙をフォローし、強化できる

解説編の【設問別解説】や【語句】、巻末の【語句一覧】などを通じて、今このタイミングで、“どの単語・語句を覚えておかなければならないのかを明確化し”，不足しているものがあればフォローできるようにしました。

加えて、《Vocabulary building exercise》や《Summary》といった設問解答とは別角度からの語彙力強化のための問題を用意することで、見て覚えるだけなく“問題に答える形”でも知識をより確実にすることができます。

③ 幅広いテーマの文章を通じて、多様な知識を広く身につける

引き続き〈社会問題〉・〈歴史にまつわる話題〉・〈心理学〉・〈健康科学〉・〈日常的話題〉といった今の大学入試で頻出かつ面白いテーマをできる限り多く取り扱っていますので、一通りの学習を終えれば“様々なテーマについての基礎知識を広く身につける”ことができ、読解力をより一層強固なものにできます。

④ 問題英文の音声を聴くことで、より深く【英語】を理解できる

本書の問題英文はすべて音声として聴くことができます（詳細は次ページ参照）。しっかりと読んだ英文の音声で聴くことで“語句のまとまりや文意の流れ”をとらえることができるようになります。リスニング力の強化に役立つことは言うまでもなく、英文読解力・英作文力の向上のために本書を使った学習の不可欠の一部として、音声を聞くことを習慣づけてください。

本書の問題英文は、パソコンやスマートフォンから下記の URL にアクセスして聴く（ストリーミング）ことができます。

<http://www.kawai-publishing.jp/onsei/01/index.html>

また、以下からもアクセスできます。



※ファイル形式は MP4 形式になります。再生する際は、最新版の OS をご利用ください。

また、パソコンから下記 URL にアクセスしていただくことで、**音声データのダウンロード**も可能です。

※ホームページより直接スマートフォンへのダウンロードはできません。一度パソコンにダウンロードしていただいた上で、スマートフォンへお取り込みください。

<http://www.kawai-publishing.jp/onsei/01/index.html>

※ファイルは ZIP 形式で圧縮されていますので、解凍ソフトが別途必要です。

※ファイルの形式は MP3 形式になります。再生するには、Windows Media Player や iTunes などの再生ソフトが必要です。

音声データに関する注意

掲載されている音声ファイルのデータは著作権法で保護されています。本データあるいはそれを加工したものを複製・譲渡・配信・販売することはできません。また、データを使用できるのは、本書の購入者がリスニングの学習を目的とする場合に限られます。

お客様のパソコンやネット環境により音声を再生できない場合、当社は責任を負いかねます。ご理解とご了承をいただきますよう、お願ひいたします。

本書は問題英文の総語数が「700～800語程度」の英文をまとめた問題集です。同じシリーズとして① (400-500words)・② (500-600words)・③ (600-700words) も用意していますが、英文の長さを除いて難度にそこまでの差はありません。どの問題集も最高の問題を用意していますので、読解力と語彙力の両方を確実に鍛えることができます。

皆さんの夢の実現に本書が少しでも役に立つことを切に願っています。

本書の使い方

読解問題について

各問題ですべての設問を解き終えたら、まずは【解答】を見て答え合わせ・採点をしてください。記述問題については【配点と採点基準】を参照して、どの要素は含まれていて、どの要素が足りていないのか、と“自分の解答を客観視”してみてください。この客観視は入試本番で自身の解答を見返す際に必ず役立ちます。

【設問別解説】は冗長になりすぎないように、要点のみに絞っています。長く予備校講師として指導してきた経験に基づく解説なので、熟読しておくように。

また、“1文1文の意味を確認する”ことも重要です。本書の問題はすべて実際に出題された入試問題なので、皆さんが受験する入試本番と同等の英文です。このレベルの英文を正確に理解する経験を数多く積みましょう。英文の意味を理解できない箇所は、【全訳】や【語句】を参照してください。

《Vocabulary Building Exercise》について

左側の英文を見て答え合わせをした後は、まず【】内の英語がどういう日本語訳になるのかを確認してください。【】内は英英辞書をイメージした言い回しになっているので、皆さんが単語帳などで学んだ単語の“ニュアンスまで含み込んだ意味”を知ることができます。ニュアンスまで把握した後は、左側の英文を見て“正解の単語が実際にどういう文脈で使われるのか”を改めて確認してください。実際の英文を読む際には単語帳の訳語をあてはめるだけでなく、文脈に応じた理解が必要になります。たんに単語帳の訳を覚えるだけでなく、単語の実際の使われ方に慣れておくことが重要なのです。

各例文の日本語訳は付属の“赤シートで隠して和訳の練習”をすることができるようになっていますので、語彙力強化に役立ててください。

〈Summary〉について

答え合わせをした後は、要約文全体と【〈Summary〉の訳】を見て、“どう要約されているのか”を確認してみてください。要約文とは文章全体の内容を過不足なく簡潔にまとめ直したものです。自分の内容理解と比較することで、自分は正確に読解できていたか、内容的に過不足していなかったかなどを確かめることができます。

巻末の【語句一覧】について

本書掲載の問題英文に出てくる単語や語句は、この機会に確実に身につけておくべき重要なものばかりです。そのため、付属の“赤シートで意味を隠すことができる”ようにしました。一通り学習を終えた後には、“実戦的な単語帳”として本書を使うこともできます。

単語・語句は各回かつバラグラフ順に並べており、各問題英文の内容やテーマに即した訳をそのまま掲載しています。改めて見た時になぜそういう訳になるのかと疑問に思った場合には、該当回の解説を参照してください。

本書内の各種記号について

- ・() は省略可能な語句を、〔 〕はその前後で言い換えが可能であることを表す。
- ・S は主語、O は目的語、C は補語を指し、A や B は名詞を指します。
- ・do は動詞の原形、to do は不定詞、doing は動名詞あるいは現在分詞、done は過去分詞、one's は所有格、A's は主語と異なる所有格、oneself は所有代名詞、をそれぞれ表している。なお、実際には文脈に応じた単語が入る。

(Vocabulary Building Exercise)

- | | |
|---|--|
| <p>1. This fable is well known to children around the world.
[a story which teaches a moral lesson]</p> <p>2. It was certain that the condition did not warrant antibiotic therapy.
[to make something necessary or appropriate in a particular situation; justify something]</p> <p>3. A simple comparison between species can lead to erroneous conclusions.
[not correct; based on wrong information]</p> <p>4. Until recently, this additive was widely used to enhance engine performance.
[to increase or further improve the good quality, value or status of somebody/something]</p> <p>5. Today his company continues to thrive.
[to become, and continue to be, successful, strong or healthy]</p> | <p>1. 「この寓話は世界中の子どもたちによく知られている」
【道徳的な教訓を教えてくれる物語】</p> <p>2. 「その状態は、抗生素による治療法を必要としないことは明らかだった」
【特定の状況において何かを必要または適切なものにする／何かを正当化する】</p> <p>3. 「生物種の間での単純な比較は、誤った結論をもたらす可能性がある」
【正しくない／間違った情報に基づいた】</p> <p>4. 「最近まで、この添加剤はエンジンの性能を高めるために広く使われていた」
【誰か、あるいは何かの質、価値、地位などを高めたりさらに改善したりする】</p> <p>5. 「今や、彼の会社は成功を重ねている」
【成功したり、強くなったり、あるいは健康になったりして、その状態を維持する】</p> |
|---|--|

〈 Summary 〉

The baseball player Yogi Berra is known for saying strange things like, "Baseball is 90% mental, and the other half is physical." Obviously, this is mathematically **erroneous**, but he makes an important point: Mental strength plays a vital role in sports. However, in spite of our current technological **innovation**, it is still too difficult to scientifically test the link between mind and body in athletes. Even so, the importance of a strong mental approach to sports was understood by the ancient Greeks. The **moral** of Aesop's story "The Tortoise and the Hare" is that a good mental strategy can **enhance** an athlete's chance of winning. It is **ridiculous** to say that athletes don't use their minds, but we tend to ignore the **implications** and intricacies of the mental side of sports and believe that physical skill and athleticism are the most important factors. We need to re-examine this attitude. (149 words)

【〈Summary〉の訳】

野球選手のヨギ・ベラは、「野球は9割が精神、残りの半分は体力だ」というような奇妙な発言をすることで知られています。明らかに、これは数学的には間違っていますが、彼は重要なことを指摘しています。つまり、精神的な強さはスポーツでは非常に重要な役割を果たすのです。しかし、私たちの最新の技術革新をもってしても、スポーツ選手の心と体の関係を科学的に検証することはとても難しいままです。そうだとしても、スポーツにおいては強い精神力の重要さは、古代ギリシャ人によっても理解されていました。イソップ物語にある「ウサギとカメ」から得られる教訓は、優れた心構え次第でスポーツ選手が勝利する可能性を高めることができるということです。スポーツ選手が精神を使わないなどと言うのはばかげていますが、私たちはスポーツの精神面が持つ影響や複雑さを軽視しがちで、身体能力と運動能力が何よりも重要な要素だと信じています。私たちは、このような態度を再検討する必要があります。